



ノアの爽かぜ風



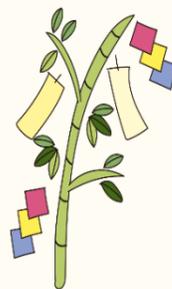
～目次～

- 病院短信『人に歴史あり』
- 介護だより
- 作業療法科だより
- 日常の一コマ
- 今月のナナ『ボール遊び♥』

- 高山 美登利
- 松田 久美子
- 吉田 祥子
- 馬場 圭美

7月の予定

- ◆誕生日会 各病棟にて
 - 1病棟: 12日(水) 14:30～
 - 2病棟: 13日(木) 14:00～
 - 3病棟: 14日(金) 14:00～
- ◆七夕 各病棟・1F正面玄関にて
笹を飾ります 7月3日～7日



院庭ハイキング

シャボン玉シャワー
爽快～(*^▽^*)

かんぱ～い!

おてんと様のもとで飲むお酒?
ならぬジュースは格別ですね～
(*^▽^*)

青空ボーリング大会

ポケットに向かってる～?
スト～ライ～ク! (^▽^)

投げたー!
インコース高め!

打ったー!
ホームラン～(´▽`)/

今月のナナ

ナナはボール遊びが大好きです♥それは
思いっきり走れるからです(*^_^*)
廊下で大玉遊び♥
外でもボール遊び♥



ナナ大玉遊び♥



『人に歴史あり』
今や認知症は国民病となり、人口に占める割合が多くなってきました。認知症の方でも、今の年齢や出身地を忘れても、若い頃の事は憶えていることがあり、認知症の方々とお話しすると、その方の人生の一部がのぞけてしまうようです。

「年？60かなあ…もう年だよ」昔は人生60年と言っていた時もあったので、年を取ったとは思っていないらしいと分かります。若い頃の話としては、バブルの頃はディスコで踊って楽しんだという方、「仕事一筋だったよ」と昭和39年の東京五輪当時に新幹線を作ったとか、ビルをたくさん建てたという方。「オシャレしてカッコイイ男の子と踊ったり飲み歩いたりしたのよ」という女性。農家の方は「大根・ネギ・サツマイモをリヤカーに積んで所沢の方まで運んで行ったよ。この辺りは小麦が取れるから、粉にしてうどんを作ったものだ」等々。子育ての話としては、大きくなった息子さん・娘さん



んへの思いや、実際は成人していますが、まだ幼いと思いついて「まだ学校に行っているよ」と言う方。全体から見ると、断片を切り取ってしまつたような話ですが、「その方」にとつての大切な「人生」がうかがえます。そんなお話を伺っている時、その方々の「輝いていた時」があるんだなと尊敬の念が浮かびます。

日常の一コマ



今月は登紀子さん（62歳）の一コマです。練馬区出身の登紀子さんは、2人姉妹の次女さんです。短大を卒業後は証券会社に勤めていました。その後、昭和63年27歳で結婚され、男の子2人をもうけました。結婚後は専業主婦になりましたが、長男さんは脳性麻痺で寝たきりのため、登紀子さんがずっと介護をなさっていたそうです。

令和元年頃、登紀子さんの様子がおかしいと長男さんが通っていた介護施設の方から話があり、ご家族も登紀子さんが1人でボーっとしていたり、メールの文章や会話などがまとまらないと感じ受診を勧めましたが、登紀子さんは頑なに受診を拒否していたそうです。その後、ご家族の説得もあり順天堂練馬病院を受診し、アルツハイマー型認知症の可能性を指摘されて内服治療・デイサービス利用を開始しましたが、記憶障害が目立ち家事が出来なくなってしまいました。令和2年国立精神神経センターに検査入院され、言語障害型アルツハイマー型認知症（言語を話す・話を理解する・文字を書く・理解するなどが困難になり失語を招くこともある）と診断されました。その後、退院されご自宅に戻られましたが、徘徊やデイサービスの拒否が目立つようになり、令和3年東京武蔵野病院に入院されました。それでも、ご家族の希望で自宅介護になりましたが、やはり難しく同年8月に当院に入院されました。

入院当時は病棟内を歩行し、スタッフが話しかけるとステキな笑顔ときれいな声で返事をしてくれました。一方で自分の思いを伝えられないもどかしさや不安もあるのか時々不穏になる事もありましたが、その時は声を掛け、寄り添うことで落ち着きを取り戻していました。コロナ禍で面会もままならない時期ではありましたが、ご家族との面会の時は満面の笑みを見せ楽しく過ごされていました。しかし、若年性のため認知症の進行も早く、今は車いすでの生活となり、食事も介助になってしまいました。しかし食事はしっかり召し上がり以前よりも肌ツヤも良くなってきたように思います。これからも登紀子さんが楽しい毎日が送れるようスタッフ一同ケアしていきます。

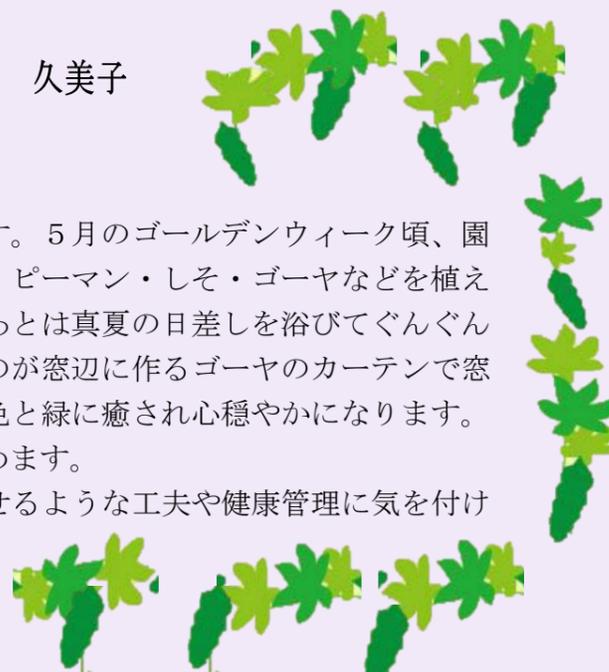


2病棟 看護主任 馬場 圭美

介護だより

2病棟 介護福祉士 松田 久美子

7月！いよいよ夏本番になりますね。私は日頃の息抜きのひとつとして家庭菜園を行っています。5月のゴールデンウィーク頃、園芸店に並ぶ苗を購入し土作りをはじめ、トマト・ナス・ピーマン・しそ・ゴーヤなどを植えます。その後、入梅となりたっぷり水分を吸収したあとは真夏の日差しを浴びてぐんぐん成長し、これから収穫が待ち遠しいです。特に楽しみなのが窓辺に作るゴーヤのカーテンで窓いっぱい成長すると涼しい風と一緒に揺れる風鈴の音色と緑に癒され心穏やかになります。ゴーヤは佃煮やゴーヤチャンプルにして夏の味覚も楽しめます。これから暑さも厳しくなりますが、心地よく元気に過ごせるような工夫や健康管理に気を付けてお仕事させて頂けたらと思っています。どうぞよろしくお願ひ致します。



作業療法科だより

作業療法士 吉田 祥子



歌うことは口腔・嚥下機能の向上、呼吸量増加に伴う心肺機能の向上、脳の活性化、ストレス発散等…いいこと尽くしです。今回、OT活動として週1回行っている「歌の会」の様子を紹介したいと思います。聴くもよし、歌うもよしのスタンスで毎回20～30名程の患者様にご参加いただいています。様々な年代の方に楽しんでいただけるよう曲の内容は、唱歌・童謡・民謡・歌謡曲（昭和初期～昭和50年代が中心）等など幅広く構成しています。季節にまつわる話や歌謡曲が流行った当時の話など写真や物を用いて、皆さんとコミュニケーションをとりながら進行しています。懐かしい歌や曲を通してうまく言葉が話せない方が涙ぐまれたり、はつらつとした表情で昔の出来事をお話しされる方もいて、活気のある会になることもあります。なじみの歌には、当時の思い出が刷り込まれており、



その時の記憶を呼び起こす不思議な力があると感じます。笑いあり、涙あり、何でもあり！？の気持ちで、皆さんの心の琴線に触れられるような歌の会にしたいものです。